

色染物質会総会の開催にあたって

本年4月に学長に就任いたしました古山正雄です。

本学は、ご存じのとおり京都高等工芸学校および京都蚕業講習所に端を発する110余年の歴史の中で、「知と美と技」を探究する独自の学風を築きあげてきました。このような伝統をもつ大学で、8年間の理事・副学長の経験を活かして、学長として職務にあたることを光栄に思うと同時に、責任の重さを日々感じているところです。幸いに優れた教職員に恵まれ、熱意と純朴さを持っている、鍛えがよい学生たちに囲まれて、本学のいっそうの発展に注力する毎日を過ごしております。

同窓会の皆さんには、日頃から本学に対する温かいご支援とご助言をいただき、また学生の就職に関しましてもご配慮をいただいております。その感謝の気持ちも込めて、大学の喜ばしいニュースについてご報告いたします。

2012年8月、本学の卒業生であるダワージャブ・ガンホヤグ氏が、モンゴル国の鉱業大臣に就任されました。ガンホヤグ氏は、1985年に本学工芸学部色染工芸学科に国費留学生として入学、1989年に卒業されました。本学で学んだ元留学生が、このような活躍をされていることは、本学にとっても大変な誇りです。

今年はモンゴル国と日本の外交関係樹立40周年にあたり、政府間でも協力関係の強化が謳われている折、モンゴル日本友好議員連盟会長として来日されたこともあるガンホヤグ氏の大臣就任により、両国間の友好関係がさらに発展することを祈念しています。

最後に、これまで大学が発展・充実できましたことは、同窓会をはじめ、各界、各関係者のご支援・ご協力があったることと深く感謝申し上げます。今後は、この栄光の歴史に新たな一頁を加えるべく、豊かな人間性に基づく技術の創造を目指して技を極め、人間の知性と感性の共鳴を求めて知と美と技の融合を目指し、教育研究の成果を世界に発信していきます。

同窓会の皆さん、後輩たちのためにこれからも引き続き本学へのご支援とご助言を賜りますことを心よりお願い申し上げます。

平成24年11月吉日

京都工芸繊維大学長 古山正雄